

十日町 商工会議所会報

4

2023 No.565

会員数：1,251事業所



通常議員総会開催

3月22日(木)、クロスステンにおいて開催された通常議員総会において、令和5年度事業計画及び収支予算等が承認されました。詳細は2、3ページをご覧ください。

十日町商工会議所

〒948-0088 新潟県十日町市駅通り17番地
TEL(025)757-5111 FAX(025)752-6044
E-mail info@tokamachi-cci.or.jp URL <http://www.tokamachi-cci.or.jp>

..... 本号の主な内容

- 令和5年度事業計画及び収支予算 ————— P2
- 会員ひろば ————— P4
「爪屋」を訪問しました
- 健康ワンポイントアドバイス ————— P5
「エイジフレンドリーな職場づくりについて」
十日町労働基準監督署 署長 瀬高 潤 氏
- 青年部コーナー ほか ————— P8

令和5年度 事業計画及び収支予算の概要について

3月22日(水)午後4時より開催された通常議員総会において、令和5年度の事業計画及び収支予算等が承認されました。事業計画及び収支予算の概要は以下の通りです。

令和5年度 事業計画

基本計画重点事業

1. 「コロナ禍を乗り越えたビヨンドコロナ社会に対応した消費・需要喚起、販路拡大事業の実施」
2. 「デジタルトランスフォーメーション (DX) ならびに伴走型事業所支援の推進」
3. 「上越魚沼地域振興快速道路早期開通に向けた要望活動の更なる推進」

1. 組織・財政の強化
当地域は、長期化する新型コロナウイルス感染症拡大や物価高騰の影響を受け、多くの会員企業で売上高が減少し厳しい経営状況が続いていますが、職員一丸となって会員増強活動に取り組みます。
また、今年度七会員増強活動と共済事業の更なる推進を行い、財政基盤強化に向け積極的な取り組みを行います。
2. 要望活動
議員総会・常議員会・正副会頭会議・部会・委員会・参与会議等を通じ、会員の皆様から地域経済の振興や安全安心の地域づくり等様々な課題に対する意見集約を行い、関係団体と連携し、国・県・市等に積極的な要望活動を行います。
また、新型コロナウイルス関連や原材料・エネルギー価格高騰対策については、会員の状況を積極的に把握し、行政や関係機関への要望を速やかに行います。
3. 商業対策
(1) 「十日町市中心市街地活性化事業」の推進
商業部会事業の推進
4. 地場産業対策
十日町織物販路開拓事業
① 第11回十日町織物産地特別招待会
開催日：令和5年5月12日(金)～15日(月)
会場：(一財)十日町地域地場産業振興センター
② さもの染織展十日町フェア
開催時期：令和5年11月(予定)
開催地：愛知県名古屋(予定)
5. 工業対策
(1) 工業技術・製品に関する販路開拓・PR支援
原材料・エネルギー価格高騰対策
行政や関係機関と意見交換を実施し情報共有すると共に、情報提供・省エネ対策の促進活動として会員事業所向けに説明会やセミナーを開催します。
6. 建設関連産業対策
(1) 「上越魚沼地域振興快速道路」の早期全線開通を上沼整備促進委員会を中心に国や県・市への要望活動に積極的に取り組みます。
(2) 市発注の建設工事について、適正な落札予定価格の設定ならびに地元業者への優先発注を要望してまいります。
(3) 建設業協会十日町支部、十日町建築組合等と連携して行政機関等への要望活動を行い、建設ならびに建築業界の振興に努めます。
7. 観光対策
(1) 「十日町雪まつり」等祭りや観光イベントの運営への協力
(2) 十日町雪まつり駅前雪像パークの開設・運営
8. (3) 観光イベント等への協力
人材確保・地元就職促進対策
(1) まちの産業発見塾
① 期日：令和5年9月25日(月)、26日(火)
② 会場：(一財)十日町地域地場産業振興センター
人材育成事業の推進
行政や関係団体等と連携し、「新入社員実務基礎セミナー」「次世代リーダー育成研修」等を開催し、会員企業の人材育成に努めます。
9. 地域資源を活用した観光開発・特産品開発の推進
十日町市や関係団体と連携し、国宝「又右衛門土器」や「縄文文化」と日本遺産に認定された日本一の豪雪地で育まれた「雪国文化」をテーマに、事業者と共に特産品開発・販路化開拓支援に取り組みます。
10. 地域産品の販路拡大支援
「フットメッセinにいがた」などで各地で開催される展示商談会に、地元食材や地域資源を活用した特産品製造業者の販路拡大支援に努めます。
また、地域の産業全体を市内外にPRする「産業発信フェア」を再開します。
11. オンライン化・デジタル技術活用支援
「オンライン化・デジタル技術活用ワークショップ」を中心に、当所青年部と連携しながらオンライン化・デジタル技術活用の底上げと、SNS活用の促進など一層の支援を行います。
また、地域電子通貨やQRコード決済などデジタル環境の整備促進について行政と意見交換をしながら取り組みます。
12. 部会活動
「令和6年度十日町市の産業振興施策に対する要望書」を提出し、市の産業振興施策への反映を要望します。
また部会単位でセミナーや行政との意見交換会等を行い、会員企業の人材育成と部会の活性化を図ります。
13. 委員会活動
「総務委員会」は会頭候補者候補者の選考、「会費査定委員会」は会費査定、「小規模企業経営改善資金審査委員会」は小規模事業者経営改善資金の審査、「小規模企業振興委員会」は、地域の動向や業況等の情報提供や会員事業所へ会議所活動の周知を行っています。
また、「上沼整備促進委員会」は、行政や周辺商工会等と連携し、意見交換会や市民理解を深めるための活動を積極的に推進します。
14. 青年部活動
「情熱こそが全てに勝る」をスローガンに掲げ、5つの委員会、1つのプロジェクト、2つのクラブ体制で会員が一丸となって研鑽と交流を積む青年部活動を展開します。

～ 4月の金融個別相談会 ～

- 日本政策金融公庫
日 時：4月4日(火) 午前10時30分～12時
自社または商工会議所からのオンライン相談も随時受け付けております。詳しくは十日町商工会議所までお問い合わせください。
- 新潟県信用保証協会
日 時：4月11日(火) 午前10時30分～12時



相談をご希望の方は、事前に当会議所担当 (☎757-5111) までご連絡ください。

マル経融資

を利用しませんか

無担保・無保証人で
2,000万円まで融資

年 利 率 1.30%
運 転 資 金 7 年
設 備 資 金 10 年

※年利率は3月15日現在

令和5年度 収支予算

収入の部

(単位：千円)

	予算額	割合	詳細
会費収入	23,140	8.56%	会費収入 20,610千円、議員特別会費 2,530千円
事業収入	16,005	5.92%	各種検定料 600千円、事務受託料 4,705千円、 記帳代行料 4,300千円、その他 6,400千円
会館収入	10,210	3.78%	一般使用料 2,000千円、テナント使用料 3,830千円、 内部使用料 4,380千円
共済等収入	32,643	12.08%	生命共済 23,500千円、特退共手数料 4,840千円、 火災保険 2,000千円、労働保険手数料 686千円、 その他 1,617千円
交付金収入	44,700	16.54%	県補助金計 35,600千円、市補助金計 4,550千円、 新潟労働局報奨金 2,000千円、日商委託料 2,500千円、 県連助成金 50千円
雑収入	318	0.12%	
小計	127,016		
積立金取崩収入	25,000	9.25%	
会計相互繰入金	37,878	14.01%	
前期繰越金	80,383	29.74%	
合計	270,277	100.00%	

支出の部

(単位：千円)

	予算額	割合	詳細
事業費	26,305	9.74%	商業振興事業費、観光振興事業費、講習会開催費、 共済推進事業費等
十日町織物販路拡大事業	6,200	2.29%	十日町織物産地特別招待会事業費、十日町フェア
青年部運営費	450	0.17%	
家屋費	8,849	3.27%	水道光熱費、地代、除雪対策費、会館使用料
会館設備・修繕費	25,200	9.32%	空調工事他
給与費	56,422	20.88%	職員15名の俸給・各種手当等
福利厚生費	9,511	3.52%	職員15名の社会保険料等
旅費	1,550	0.57%	
事務費	16,558	6.13%	会議費、事務費、車両費、通信費、消耗品費、事務機器費等
渉外費	940	0.35%	
費用弁償	1,043	0.39%	会議等費用弁償
公課分担金	4,422	1.64%	
雑費	1,495	0.55%	
退職金	0	0.00%	
特退共掛金	1,980	0.73%	
小計	160,925		
積立金	4,300	1.59%	
会計相互繰出金	37,878	14.01%	
予備費	67,174	24.85%	
合計	270,277	100.00%	

18.

中小企業相談所の運営

会員事業所からの様々な相談に対応するため、「ワンストップ

17.

共済事業の推進

①当所会員の福利厚生のための各種個人保険、ちんころ共済の加入促進
 ◎増強月間…5～6月…ちんころ共済、個人保険
 ◎10～11月…個人保険
 ②小規模企業共済・倒産防止共済の加入促進
 ③新潟県火災共済協会の加入促進
 ④日本商工会議所ビジネス総合保険
 ⑤マネーセミナーの開催支援を通じた若い世代への取組みの強化

15.

関係団体との連携

各団体の事業活動に協力し、地域経済の発展や労働・雇用環境の改善、文化・福祉等の充実のため多様な地域貢献を果たします。

16.

会館（エコマール）の有効活用

インターネット接続設備の改修と大型モニター等の導入により、オンライン会議や相談等が可能となり、オンライン化対応の支援施設としても有効活用を図ります。

14.

機能の向上を図り、中小企業・小規模事業者の支援事業に取り組みます。

「小規模事業者持続化補助金」や「ものづくり補助金」、「新型コロナウイルス」対応新事業チャレンジ支援事業など、県や関係機関の支援制度の周知と活用を促し、経営計画の策定と実施支援による事業所の自己変革の支援を実施していきます。

13.

「小規模事業者持続化補助金」や「ものづくり補助金」、「新型コロナウイルス」対応新事業チャレンジ支援事業など、県や関係機関の支援制度の周知と活用を促し、経営計画の策定と実施支援による事業所の自己変革の支援を実施していきます。

10月から実施されるインボイス制度への対応支援や専門家によるオンライン相談体制の整備を強化するとともに、職員による事業者の売上・受注の増加、販路開拓のため、事業者の出展支援を継続して行います。

12.

金融対策

講演会、講演会等の開催

11.

金融対策

講演会、講演会等の開催

10.

金融対策

講演会、講演会等の開催

9.

金融対策

講演会、講演会等の開催

8.

金融対策

講演会、講演会等の開催

7.

金融対策

講演会、講演会等の開催

6.

金融対策

講演会、講演会等の開催

5.

金融対策

講演会、講演会等の開催

4.

金融対策

講演会、講演会等の開催

3.

金融対策

講演会、講演会等の開催

火災共済

口座振替でご利用しやすくなります。



フェニックス



マネー

所得補償共済

1口月額500円の掛金で、病気やケガで働けなくなったときの所得を補償します。

自動車共済

(補償先：関東自動車共済協同組合)

安心をささえる
3つの補償

- ①賠償に関する補償
- ②ご自身の補償
- ③お車の補償



ドライブン

お申し込みは 十日町商工会議所へ
新潟県火災共済協同組合

スプリングフェア 2023

SPRING FAIR

心 トキメク春文具がいっぱい



4/9日まで開催中!!



(株)滝沢印刷

文具館タキザワ

十日町市本町2丁目
TEL(025)757-2191

広告掲載募集

「十日町商工会議所会報」では、会員事業所の方々より会社紹介・商品紹介・各種PR等にご利用いただきたく広告を募集いたします。詳細につきましては、お気軽にご相談ください。

広告のサイズ	掲載料(税込)
縦4.5cm × 横8.6cm	(年間) 27,500円
縦9.9cm × 横8.8cm	(年間) 77,000円
A4全面広告(1回分)	(一回) 100,000円

爪屋

Instagram : @tsumeya_i
 公式LINE : @679vtcdx
 Mail : tsumeya.i@gmail.com
 完全予約制
 ※お問合せは、InstagramのDM
 (ダイレクトメッセージ) からどうぞ



今月は、2022年2月に自宅ネイルサロンとして開業された「爪屋」の桑原藍さんにお話を伺いました。
 爪屋ではおしゃれなネイルはもちろんのこと、巻き爪やささくれなど爪そのものと指先のケアも行っています。
 幼い頃から美容やメイクに興味を持っていた藍さん。子ども



の頃から趣味として自分自身や友人の爪にネイルを施してきました。



ネイルデザイナーの藍さん

若くして結婚・出産し、子育てや他の仕事をしながらも、ほとんど独学で技術を学んでこられました。

20代半ばから本格的にネイル検定の試験を受け始め、ネイルに対する情熱を燃やし続ける中で自宅での開業に至りました。今では、ネイルに限らずフットケアや衛生管理に関する資格なども取得されています。

大好きなネイルを仕事としてできるようになったことで、学び続けることや人との関わりの大切さを学び、自分の中にブレない芯を作る心の強さにもつながっていると感じられています。

店名の由来をお聞きすると、施術を通してお客様の気持ちが高まるようにサポートできるように

うなお店にしたいと考えていた時に、パッとインスピレーションが湧いて「爪屋」と決められたそうです。

『一緒に楽しく創るネイル』をモットーとされ、お客様とのコミュニケーションをとっても大切にされています。そのため、ネイルのサンプルは基本置かず、一人ひとりのお客様のご希望に添えるように丁寧なカウンセリングを心がけています。結果として、同じデザインはひとつとしてないそうです。



美しいネイルデザイン

これまでにネイルを施したお客様から「指先が綺麗になって気持ちもモチベーションも上がったよ」「ネイルはお守りなんだよね」と喜びの声をいただくことが何よりも励みになっているとのこと。

「まだまだ十日町では浸透していないネイル業界ですが、今後たくさんの方に知っていただき、全てのお客様を笑顔にできるように一生懸命頑張っていきたいです。」

す。何よりも、支えてくださるたくさんの方々のおかげでネイルを続けていくことができます。施術を通して感謝の気持ちを伝え続けていきます」と笑顔でお話くださいました。



自宅の一室である仕事場

おしゃれなネイルだけではなく、爪周りのケアやキレイに見える爪の切り方など爪に関する相談もできます。まずは一度、爪屋のInstagramをご覧ください。

お忙しい中お話を聞かせていただきまして、大変ありがとうございました。

(振興委員：村山)
 (職員：根津)

各種健康相談のお知らせ

■臨床心理士によるこころの相談会 (7日前までに要予約・無料)
 不眠や気分の落ち込みなど、ひとりで抱え込まずに相談してみませんか。

日 時：4月17日(月) 午後1時～3時

■保健師による健康相談 (5日前までに要予約・無料)
 健診結果の説明や血圧測定など、各種健康相談に応じます。

日 時：5月8日(月) 午前9時30分～11時30分

会 場 十日町保健センター (十日町市役所となり)
 問合せ 健康づくり推進課 成人保健係 (☎025-757-9764)

事業主の
 皆さま

お車の見積りは
ビジネスリースをお薦めします

(株)共和自動車
 KYOWA

十日町市高田町6丁目750番地

TEL 025-752-5559

FAX 025-757-5477



「エイジフレンドリーな 職場づくりについて」

十日町労働基準監督署 署長
瀬高 潤 氏

One Point advice

十日町地域産業保健センターからの 健康ワンポイントアドバイス

高齢化社会の進展とともに、職場においては、60歳以上の高齢労働者が増えており、今後ますます増えていくことが見込まれています。こうした中、高齢者が安心して働ける職場づくりが求められるようになり、そのため、令和2年3月に「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン（エイジフレンドリーガイドライン）」が厚生労働省により策定されました。

このガイドラインが策定された背景や求められる取組事項について、簡単にお知らせします。

高齢労働者の増加とともに、労働災害による死者数では60歳以上の労働者が占める割合が約3割になっており、増加傾向にあります。また労働災害発生率は、若壮年層に比べ高年齢層で相対的に高くなり、中でも転倒災害、墜落・転落災害の発生率が高く、さらに休業見込期間も年代が上がるほど長期化する傾向があります。ま

た、高齢労働者は、加齢等に伴い、筋力や感覚機能等の生理的機能の低下と健康状態の変化が訪れ、年代が上がるにつれて、機能や状態の個人差が広がるという特性があり、その特性を理解することが重要となります。

エイジフレンドリーガイドラインは高年齢労働者の労働災害の防止を目的として、事業者に求められる主な取組は、以下の5つとなります。

1. 安全衛生管理体制の確立
経営トップによる方針表明と体制整備、リスクアセスメント、PCDAサイクルの実施等。
2. 職場環境の改善
身体機能の低下を補う設備・装置の導入等のハード面の対策や高年齢労働者の特性を考慮した作業管理等のソフト面の対策の実施。
3. 高年齢労働者の健康や体力の状況の把握
健康診断等による健康状態の把握や体力チェックの実施等による

体力の状況の把握。
4. 高年齢労働者の健康や体力に応じた対応
個々の高年齢労働者の健康や体力の状況を踏まえた業務の軽減や労働時間の短縮等の措置。心身両面にわたる健康保持増進措置。

5. 安全衛生教育
高年齢労働者、および管理監督者等に対する教育。
また、労働者に求められる事項として、事業者が実施する取組に協力するとともに、自己の健康を守るための努力の重要性を理解し、自らの健康づくりに積極的に取り組むことが示されています。

エイジフレンドリーな職場は、高年齢労働者だけではなく、多様な働きやすい職場となります。エイジフレンドリーガイドラインを活用して、働く高齢者の特性に配慮したエイジフレンドリーな職場を目指しましょう。

エイジフレンドリーガイドラインの全文はこちら→
<https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/000620183.pdf>



高年齢労働者の労働災害防止対策についての情報ははこちら→
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/anzen/newpage_00007.html



高齢労働者の 健康管理について

厚生省の調査では、45歳から病気で受診する方が増え始めます。65歳前後の入院患者数を比較した調査結果では、心疾患、脳血管疾患、筋骨格系の疾患、腎疾患などが増加しています。

また、がんに罹患するのは60歳からの10年間で、男性が13%、女性は8%と高率です。

安全に働くためには健康管理は大切です。健康診断で自身の健康状態を確認し、異常を放置しないようにしましょう。また、体力低下を防ぐために栄養バランスの良い食事をきちんと摂り、適度な運動習慣を心がけ、筋力や柔軟性の維持に努めましょう。

十日町検診センターの 健康コラム

一般社団法人
新潟県労働衛生医学協会

保健師 源氏 富貴子

50人未満の事業場の皆さん！ 登録産業医・保健師が無料で対応します

- ① 健診結果についての医師からの意見聴取
- ② 健康相談・メンタル相談
- ③ 長時間労働者・高ストレス者に対する面接指導
- ④ 個別訪問による産業保健指導



お問合せ
お申込み

十日町地域産業保健センター TEL 752-5980
FAX 750-1422
十日町市本町2丁目226番地1 十日町市中魚沼郡医師会事務所内

健やかな毎日のために。

まごころをこめて「**確かな安心**」と「**信頼**」をお届けします。

日帰り人間ドック

一般健康診断

各種がん検診

特定健診・特定保健指導

(一社)新潟県労働衛生医学協会

十日町検診センター

〒948-0057 十日町市春日町113番地
☎025-752-6196

詳細はお電話、もしくはインターネットでお問い合わせください

医学協会 検索

オンライン化・デジタル技術活用ワーキングチームコーナー

「DX」って何？

DX、デジタルトランスフォーメーションという言葉が、テレビや雑誌などいろいろなところで聞かれますが、一体何のことなのかよく分からない方がいらっしゃるのではないのでしょうか。そこで、今回はDXの定義を説明したいと思います。

経済産業省ではDXを次のように定義しています。

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、*¹製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、*²業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

デジタルガバナンス・コード2.0 2022年9月13日 改訂 経済産業省より

この定義について新潟県がわかりやすく再整理したものを提示していますので紹介します。

新潟県が県内企業の各種取り組み実態に合わせて わかりやすく再整理

DXの定義を整理

*²企業文化や組織マインドの抜本的変革

*¹現在のビジネスモデルの抜本的な変革

新規製品・サービスの創出

既存製品・サービスの高付加価値化

業務の効率化による生産性の向上

具体的な事例

業務の自動化・ITツールの導入による自由な働き方の実現

ICT技術導入による非対面型のサービス業の実現

AR/VRを活用した新たなスポーツ観戦の創出

顧客データ集計クラウドの導入によるサービスの改善

AI-OCR技術の導入による業務のペーパーレス化

狭義のDX

広義のDX

このようにDXとは、ITを使って単に業務を効率化するというだけでなく、最終的にはビジネスモデルの変革とあわせて企業文化・風土を変革しながら、競争力を維持・強化することを意味します。

いかがでしたか。DXの定義とITツールなどを活用した具体的な事例とあわせてみるとわかりやすいと思います。

今、「つみたて」しているものを、「つみたてNISA」&「iDeCo」に変更しませんか？

最適な「金融機関&商品」をご案内します！（相談料 3,000円・税込み）

中小企業診断士
CFP® 認定者 池田 隆
DCプランナー2級（企業年金総合プランナー）

(有)サクセスプラン 十日町市山本町1丁目 ☎025-757-2058
E-mail success@cocoa.ocn.ne.jp

おいしい「笑顔」が大好きです！

私たち自慢の地酒、
コンセイエ厳選のワイン、
鹿児島から仕入れてきた幻の焼酎。
おいしいお酒に出会うたび
お客様の笑顔が浮かびます。



みやこう
(有)宮幸酒店

☎0120-39-2558
TEL025-752-2558

十日町市昭和町1丁目 営業時間 9:00~19:00

●人口

(単位：人)

月	区分	男	女	計	世帯数
1月		24,037	25,048	49,085	19,549
前年同月		24,498	25,580	50,078	19,630
比(%)		98.1	97.9	98.0	99.6

INFORMATION
●●●●●●●●●●
役立つ統計

●ほくほく線十日町駅乗降者数

(単位：人)

区分	乗車人員	降車人員
1月	11,124	11,943
前年同月	10,346	10,954
増減	778	989

●建築確認申請状況

(単位：㎡)

総数	工事種別					
	新築		増・改・移築			
1月	件数	延面積	件数	延面積	件数	延面積
	2	429.99	2	429.99	0	0.00
前年同月	0	0.00	0	0.00	0	0.00
比(%)	-	-	-	-	-	-

●ハローワーク求人数

(単位：人)

	新規求人数			月間有効求人数			月間有効求人倍率	
	合計	常用 (パート含む)	臨時・季節 (パート含む)	合計	常用 (パート含む)	臨時・季節 (パート含む)	全数	常用 (パート含む)
1月	448	429	19	1,104	1,031	73	1.28	1.34
前年同月	318	308	10	828	787	41	0.96	1.01
増減比(%)	40.9	39.3	90.0	33.3	31.0	78.0	0.32p	0.33p

会議所事業活動報告
2月

- 1日・第47回生誕地まつり 事務局会議
- 2日・ビジネスに使えるSNS活用セミナー(第2回目) 青年部 2月執行部会 (公社)十日町地域シルバ一人材センター理事会 縣信会総会・新年会
- 3日・防火訓練
- 6日・第11回十日町織物産地特別招待会実行委員会 第11回十日町織物産地特別招待会参加事業所説明会
- 7日・第4回監査会 十日町セントラルパーキング臨時総会
- 8日・ビジネスに使えるSNS活用セミナー(第3回目)
- 9日・上越魚沼地域振興快速道路国道253号十日町道路事業説明会 青年部 臨時総会・2月例会 青年部 2月役員会
- 12日・第227回 珠算・暗算検定試験
- 13日・第11回正副会頭会議
- 15日・日商合同委員会・常議員会(16日) feenIPPON 春2023(17日)
- 16日・第四北越会総会・新年会
- 18日・第74回十日町雪まつり
- 20日・青年部 次年度執行部会 十日町市観光協会十日町支部第2回理事会
- 21日・第130回JRR東日本信濃川地域共創事務所報告会
- 22日・(社)新潟県商工会議所連合会運営委員会 ビジネスに使えるSNS活用セミナー(第4回目) 十日町板金組合定期総会
- 24日・確定申告相談会 十日町市文化観光推進協議会第1回総会並びに十日町市文化観光推進地域計画策定協議会第1回総会 十日町市褒賞審査会
- 26日・第163回簿記検定
- 27日・十日町市商店街連合会理事會
- 28日・青年部 次年度役員予定者會議
- 令和4年度上越魚沼地域振興快速道路「十日町・六日町間」整備促進連絡協議会

きもの幸せを考える
株式会社 **きものブレイン**
KIMONO BRAIN

- きもの総合加工
- きものデリバリーセンター
- きもの製造販売
- きものアフターケア診断士講座
- 無菌人工給餌周年養蚕事業

十日町市高田町六丁目510-1 TEL.025-752-7700 (代)

本醸造

魚沼酒造株式会社
十日町市中条八幡
☎752-3017

天神醸造

最終例会・卒業式

十日町商工会議所青年部（多田朋孔会長／NPO地域おこし）では、3月16日（内午後6時から）ラポート十日町において最終例会を開催し、総勢59名が出席しました。令和4年度は「楽しみながら学び合おう！〜共に未来を創るために〜」というスローガンのもと、「クラブ交流」「研修」「地域課題検討」「ビジネス」「対外交流」の5委員会、「雪像プロジェクト」の1プロジェクトで活動してきました。コロナ禍により活動が制限される中ではありましたが、様々な事業を通して会員間や周辺商工

会青年部との交流を図るとともに、十日町の課題解決や経済の発展につながる事業を行うことができました。

年度の締めくくりとして、各委員会・プロジェクトが事業活動報告を行い、事業目的の達成度や予算の執行状況等の観点から事業を振り返るとともに、次年度以降の青年部活動にもフィードバックできるように意識を高め、次年度につなげていく良い機会となりました。

また、最終例会に引き続いて令和4年度卒業式を行いました。卒業生の皆様からは青年部活動の思い出などスピーチをいただき、青年部に入ってから活動し、いろいろな方と交流ができて非常に良かったとの声が聞かれました。



卒業生の皆様、お疲れ様でした！

日本YEG単会意見交換交流事業

3月10日（金）午後7時から当所2階多目的ホールにて、日本YEG単会意見交換交流事業が行われました。この事業は日本YEG組織活性化委員会が行っている各地の単会訪問事業で、当日は日本YEG西村昭宏会長をはじめ、日本YEG組織活性化委員会を中心としたメンバーが当会を訪問しました。意見交換会では、青年部会員を増やす取り組みなどについて活発な意見交換が行われ、とても有意義な時間となりました。



花いっぱい事業

3月18日（土）に中心商店街との連携により、にぎわい創出や地域住民との連携を深めることを目的に花植え作業を行いました。アーケードの支柱に取り付けられたポットや店先に置かれたプランターに色とりどりのパンジーが植えられました。

